

2008年11月5日

**「首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する
基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究」を募集します**

財団法人とうきゅう環境浄化財団

財団法人とうきゅう環境浄化財団(会長:西本定保)では、2009年度研究助成事業として「首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、環境改善計画のための研究」を広く一般から募集します。

この研究助成事業は、多摩川およびその流域の環境浄化を促進するため、1975年から毎年実施しているもので、これまでに491件の研究に対して助成金を交付しています。

2009年度も引き続き、意欲的な研究の募集を行います。募集の概要は、以下の通りです。

**「首都圏における多摩川およびその流域の環境浄化に関する基礎研究、応用研究、
環境改善計画のための研究」募集の概要**

研究対象者 学識経験者の方はもちろん、一般の方でも研究に意欲のある方であれば、どなたでもご応募いただけます。

研究対象テーマ 産業活動または住生活と、多摩川およびその流域との関係に関する調査および試験研究
排水・廃棄物等による多摩川の汚染の防除に関する調査および試験研究
多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究
シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川及びその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの。

応募締切 2009年1月15日(木)

応募方法 応募についての詳細は、財団事務局までお問い合わせ下さい。
電話 03-3400-9142

以上

参考 1

「とうきゅう環境浄化財団」の概要

法人名	財団法人とうきゅう環境浄化財団
法人事務局	渋谷区渋谷1丁目16番14号
法人役員	会長 西本定保
設立	1974年8月28日
法人の目的	多摩川およびその流域の環境浄化保全に関する調査・試験研究ならびに助成 多摩川およびその流域の環境浄化保全に関する行政施策等に対する協力 多摩川およびその流域の余暇活動に対する指導および援助 多摩川およびその流域の環境浄化に関する広報
主な事業内容	研究助成事業 下記の研究課題を対象とする学術研究と一般研究に対する助成事業 ・人間活動と多摩川およびその流域との関係にまつわる調査、試験研究 ・多摩川水質の汚染の防除に関する調査、試験研究 ・多摩川およびその流域における水の利用に関する調査、試験研究 ・シンポジウム、音楽会あるいは出版等による環境啓発活動や、歴史的な遺産あるいは社会システムの維持保全・回復運動等、多摩川及びその流域における環境保全や文化の創造に広く寄与するもの。 調査研究事業 普及啓発事業 環境回復援助事業

参考2

研究助成の実績

年 度	新規研究	継続研究	計	金 額
1975～97年度	343件	412件	755件	941,171,575円
1998年度	16	17	33	35,936,508
1999年度	16	21	37	36,927,445
2000年度	13	20	33	34,047,070
2001年度	12	15	27	32,788,850
2002年度	14	14	28	30,264,870
2003年度	15	15	30	29,555,626
2004年度	13	10	23	21,983,844
2005年度	10	11	21	21,352,930
2006年度	11	10	21	21,625,950
2007年度	14	10	24	21,999,210
2008年度	14	10	24	22,090,830
合 計	491件	565件	1,056件	1,249,744,708円

これらの研究成果は、「助成集報」、「多摩川環境調査助成集」などの刊行物としてまとめ、多摩川の環境浄化に関係の深い行政機関、図書館、教育委員会などに寄贈し、ご活用いただいております。

- [主な寄贈先]
- ・行政機関：経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、川崎市など
 - ・図書館：川崎市、大田区、調布市、立川市、八王子市など
 - ・教育委員会：川崎市、大田区、世田谷区、八王子市など

参考3

研究助成例

2008年度選考された研究課題

学術研究

研 究 課 題	所 属・代表研究者
分子生物学的手法を用いた多摩川河口域の細菌群集モニタリング	東京海洋大学大学院 教授 今田 千秋
多摩川流域に生息する魚類の遺伝子情報に基づく水域ネットワークの保全計画に関する研究	東京農工大学大学院連合農学研究科 西田 一也
多摩川生息魚類の腸内および周辺環境水の細菌叢に及ぼす化学物質の影響	東京海洋大学海洋科学部海洋環境学科 教授 浦野 直人
多摩川における“ツル植物”の繁茂が河川生態系に及ぼす影響の解析・評価と対策指針の検討	特定非営利活動法人 河川生態市民モニタリング研究会 代表理事 佐々木 寧
明治・大正期の別邸敷地選定にみる国分寺崖線の風景文化論的研究	東京工業大学大学院 社会理工学研究科社会工学専攻 助教 笠原 知子
多摩川に集う人の癒し効果：ストレス緩和調査に基づく多摩川に関わる自然保護活動	千葉大学教育学部 教授 杉田 克生
音や音声を活用した多摩川環境学習システムのプロトタイプに関する研究	大妻女子大学社会情報学部 教授 生田 茂

一般研究

研 究 課 題	所 属・代表研究者
市民参加調査による多摩川における洪水攪乱後の礫河原鳥類の動態についての研究	特定非営利活動法人 自然環境アカデミー 代表理事 島田 高廣
水害防備林の立地と自律的水制機能発達に関する定量的評価と伝統的治水工法の変容	学校法人東京女学館中学・高等学校 教諭 長尾(中山) 朋子
多摩川流域市民学会の開催	都立富士森高等学校 教諭 長谷川 博之
西暦2010年の多摩川を記録する運動	特定非営利活動法人 多摩川センター 横山 十四男
交響詩「多摩川の流れは絶えずして138」のコンサート活動を通して環境の啓発活動	作曲家 仙道 作三
玉川碑関係史料集の刊行	万葉名歌 玉川碑に集う会 稲葉 和也
多摩川下流都市における谷戸の実際～生態学的現状と資源的展望～	武蔵工業大学付属高等学校 在学中 長谷川 友紀

以上